



新発田市立藤塚小学校 学校便り

# 日本海

令和5年4月 日  
第1号



学校ホームページへ

## 「3つのキラリ」を通して、「互いを認め合い、共に生きようとする力」を育んでいこう

校長 山田 耕世こうせい

令和5年度がスタートしました。今年度、校長として着任しました山田 耕世と申します。創立150周年という、伝統ある藤塚小学校に勤めることができ、大変ありがたく感じています。いろいろな場面でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月6日（金）の第1学期の始業式に子どもたちに以下の内容の話をしました。

### 「3つのキラリ」をぜひ見つけてみましょう。

#### 1つめは、「自分自身のキラリ」です。

どの人にも必ずいいところや頑張っているところなどの「キラリ」があります。挨拶を頑張っている人、勉強や運動を頑張っている人、ユーモアあふれる人など、きっといいところや頑張っているところなどの「キラリ」があるはずです。なかなか気付きにくい、自分自身の「キラリ」に気付いてほしいと思います。気付くことができた時、きっと「自分って案外すごいなあ」などといった自己肯定感や自信を感じることができると考えます。

#### 2つめは、「友達のキラリ」です。

友達にも「キラリ」がきっとあるはずです。そして、「〇〇さんってここを頑張っていてすごいね」「〇〇さん、いつも遊びを誘ってくれてありがとう」などのメッセージを相手に伝えてみてください。「友達のキラリ」をたくさん見つけ、それを伝えることができた時、友達との関係がさらに良くなっていくと考えます。

#### 3つめは、「藤塚小学校や地域のキラリ」です。

校長先生はまだ藤塚小学校に来たばかりなので、まだ、「藤塚小学校や地域のキラリ」はよく分かりません。でも、この前、「松塚漁港」という所に行ってみました。そしたら、ちょうど「さかなまつり」が行われていて、大きなカニが入った、おいしいお味噌汁をいただきました。そこにいる人たちは、みんな笑顔で明るくて、藤塚小学校の地域には、素敵などころがあるんだなと感動しました。きっとまだまだたくさんの「キラリ」があるはずです。これからも探してみたいと思っています。

さて、この「3つのキラリ」を探していく中で、自分とは考えや気持ちが異なる友達に対しても、互いのよさや頑張りに気付くことができ、認め合い、協力し合って生きていこうといった力がきっと大きく育っていくと考えます。

子どもたちが生きるこれからの時代は、「互いを認め合い、共に生きようとする力」（藤塚小学校では『かかわる力』と呼んでいます）がますます必要になってきます。ぜひ、保護者や地域の皆様と協力し合いながら、子どもたちのために『かかわる力』を育てていきたいと強く考えております。